



国民の安心・安全の確保



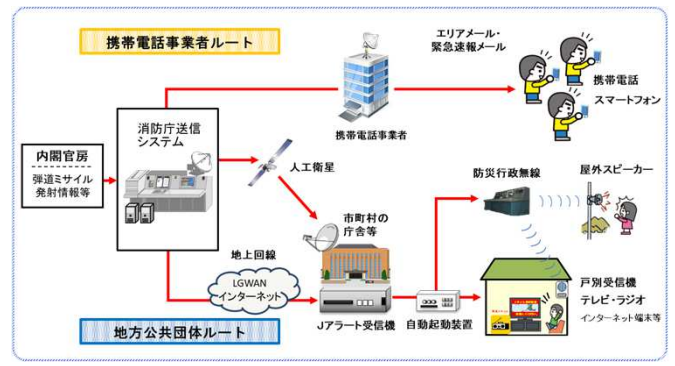
国民保護のための避難行動の周知促進

弾道ミサイルは発射から短時間で到達する可能性があるため、避難行動について一層周知を進めていく必要あり。

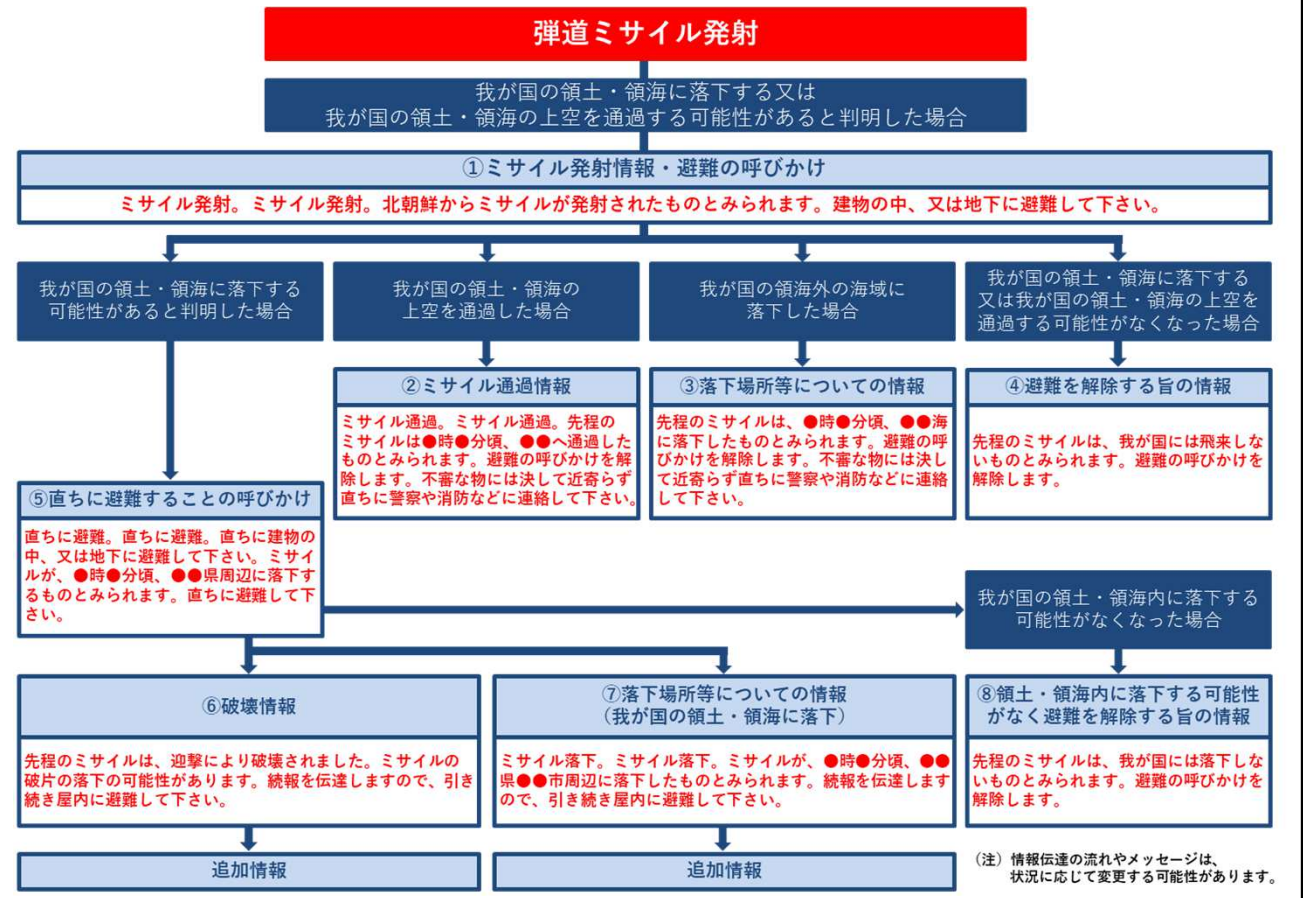
- 弾道ミサイル発射時の対応訓練を積極的に実施いただきたい。
- 弾道ミサイル飛来時の取るべき行動について、住民への周知を促進していただきたい。

全国瞬時警報システム（Jアラート）

- ・ 弾道ミサイル情報など、対処に時間的余裕のない事態に関する情報を国から住民まで瞬時に伝達するシステム




弾道ミサイル発射時案に関するJアラートによる情報伝達フロー



国民保護に係る警報のサイレン音

警報が市町村から住民に伝達される際には、武力攻撃が迫り、又は現に武力攻撃が発生したと認められる地域に、原則としてサイレンを使用して注意喚起が図られる。

- 積極的な周知をお願いしたい（訓練時の防災行政無線による放送や、事前説明時におけるデモンストレーション）

国民保護ポータルサイト ⇒ 
 (サイレン音の再生)

弾道ミサイル飛来時取るべき行動



弾道ミサイル飛来時の行動について

弾道ミサイルは、発射からわずか10分もしないうちに到達する可能性もあります。

弾道ミサイルが着弾した場合、激しい爆風や破片などにより、身体へ大きな被害を受ける可能性があります。

弾道ミサイルが日本に飛来する可能性がある場合は、Jアラートを通じて屋外スピーカーや携帯電話の緊急速報メール等によりメッセージを流します。

メッセージが流れたら直ちに以下の行動をとってください

弾道ミサイルが上空を通過した場合など避難行動をとる必要がなくなった場合は、避難の呼びかけを解除します。

屋外にいる場合 爆風や破片などを避ける

近くの建物の中 または **地下へ**

緊急一時避難施設[※]をはじめ、コンクリート造り等の頑丈な建物や地下街、地下駅舎等の地下施設へ避難することが望ましいですが、それ以外でも構いません。

※ 緊急一時避難施設：弾道ミサイル攻撃による爆風等からの直接的被害を軽減するための一時的な避難に活用する観点から都道府県知事等が指定する施設。

屋内にいる場合 爆風で割れた窓ガラスなどを避ける

その場で安全を確保し


窓から離れる または **窓がない部屋へ**

近くに建物がない場合は **物陰に身を隠す** または **地面に伏せ 頭部を守る**

詳しくは、内閣官房国民保護ポータルサイトへ

国民保護 検索 

- ・ 住民避難訓練、市町村職員の初動対応訓練の積極的な実施が重要
- ・ 「弾道ミサイル飛来時の行動」についての詳細は、内閣官房国民保護ポータルサイトに掲載

国民保護ポータルサイト ⇒ 
 (ミサイル飛来時の行動)

- ・ 消防庁では、今後、避難行動の周知を促進するため、動画を制作

(県からのお願い)

北朝鮮は弾道ミサイルを依然として発射しています。(1/6にも発射)

- 弾道ミサイルの**対応訓練**を積極的に実施してください。
- Jアラートが流れた際の行動について、**住民へ周知**してください。



▲避難誘導などについて職員に説明

弾道ミサイルを想定した住民避難訓練

県では「弾道ミサイルを想定した住民避難訓練」を、市町村と連携して県内各地で開催しています。

学校や商業施設、行政庁舎等を対象に、弾道ミサイルが発射され、Jアラート情報が流れた際に取りべき避難行動を学びます。

(令和7年度も予算要求予定)

※ 住民参加とするほか、施設等の職員を対象とした来客等の避難誘導を行う訓練等のやり方もあります。



▲習った避難行動を早速訓練で実施

ショートムービー公開中です

「弾道ミサイルから身を守る避難行動～もしJアラートが聞こえたら～」
YouTubeで公開中です。
国民保護サイレン音も収録しています。



<https://www.youtube.com/watch?v=Ch6xCvieaGI>